

政務活動費 領収書等貼付用紙

0452

(1/2)

日付	令和 7 年 4 月 17 日	支出額	169,125 円
項目	広報費	充当額	169,125 円
細目	広報費	按分率	
摘要	県政レポート令和 7 年プチ報告号作成費、印刷代		
備考	口座 ミヤザキゴイチセイムカツドウジムショ 領収書付記： ③使途（県政レポート令和 7 年プチ報告号作成費、印刷代として）		

政務活動費 領収書等貼付用紙

(2/2)



埼玉りそな銀行

口座情報

1

口座番号

ミヤザ^キコ^イチ セイムカツト^ウ

明細情報

2025.4.17

2025.4.17-2025.4.17

※普通預金の入出金明細の表示のうち、口座振替など夜間に手続されるもの等について、銀行での手続日がお客さまのお取引日と1日ずれる場合がございます。
このため、ご指定の期間より、前後1日分拡大して表示しております。

1/1ページ

請求書

宮崎吾一事務所 御中

請求日 2025-04-16
請求書番号 262

Radic Design


下記の通りご請求申し上げます。

件名 みやざきごいち様県政レポート令和7年
 ブチ報告号

小計	消費税	請求金額
153,600円	15,360円	168,960円

入金期日	振込先
	

摘要	数量	単価	明細金額
宮崎吾一_県政報告_令和7年ブチ報告号_印刷費	32,000 部	3.8	121,600
(ポストカードサイズ ホワイトアートポスト180kg)			
宮崎吾一_県政報告_令和7年ブチ報告号_制作費	1 式	32,000	32,000

内訳	10%対象(税抜)	153,600円
	10%消費税	15,360円

備考



埼玉県議会議員

みやざき ごいち

県政レポート

令和7年プチ報告号

みなさんの
こころに
は!!

りり 今月の\ごいちがGO!/ 県議会の注目政策

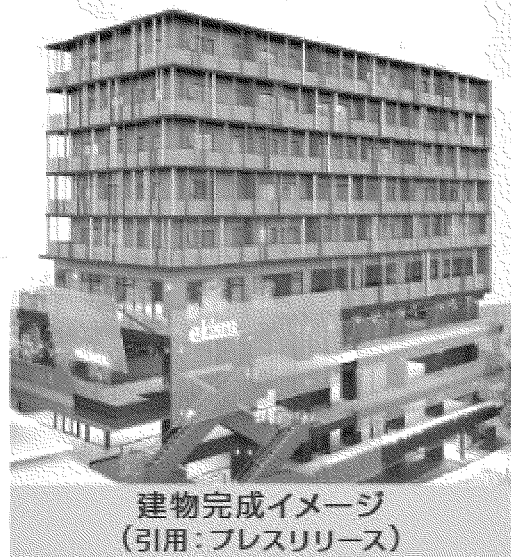


埼玉出身の
渋沢栄一さんになり、
名付けられました!!

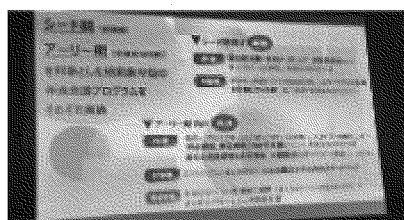


注目 さいたま新都心駅前に県内での起業を
サポートする支援センターが誕生!!

支援センターの名前は「渋沢MIX」。この施設は「会社を作るなら埼玉県」をめざし、スタートアップ・人材育成の支援を行い、企業の成長を後押しする拠点として令和7年夏にオープンします。私は会社経営の初期段階に必要な資金を提供するエンジェル投資家の出資に着目しています!



建物完成イメージ
(引用: プレスリリース)



イベントでは、埼玉県の現状が
報告されました



そして、3月に開催された
イベントに出席いたし
ました。
スタートアップの創出、
人材育成を積極的に応援
してまいります!

ごいちが 県の環境部にGO!

宛先：ごいち事務所

件名：充電電池の
火災について

リチウムイオン電池や
充電式製品の
火災が問題と
なっています



メール

現在、県の環境部が
リチウムイオン電池等の廃棄・回収の
マニュアルを作成中とのこと!!

火災防止の液体を
県の研究所で
開発・研究中です

環境部長に質問!!
予算委員会にて

回収で取り出した
レアメタルで
収益をあげられる
システムの開発中!

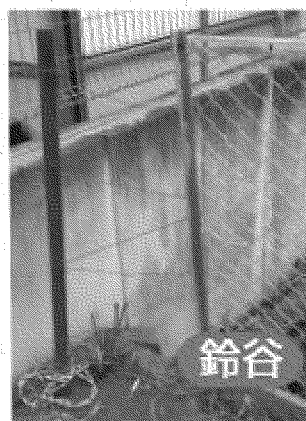
手続を簡素化し、
コストを下げる
取り組みを
提案中です



下落合

▲ 鴻沼川。川岸の木が伐採され、
洪水に備えます。

こどもが落ちない
ように、緊急で
補修しました



鈴谷

携帯から
送れます!!



**\より良い埼玉県にGO!/
ご意見を送ってください**

お問い合わせ先

ちゅうおうくの くろうなくす ごいちくる~
☎090-9679-5196

公式HP: <https://51go.jp/>
E-mail: gororin51@gmail.com

政務活動費 領収書等貼付用紙

0453

(1/2)

日付	令和 7 年 4 月 17 日	支出額	159,084 円
項目	広報費	充当額	111,358 円
細目	広報費	按分率	7/10
摘要	県政報告書郵送料		
備考	領収書宛名 杉田茂実		

領収書

様

[別納引受]

区内特別特 (定)

@81 1,964通 ¥159,084

小 計

¥159,084

郵便物引受合計通数 1,964通

課税計(10%) ¥159,084

(内消費税等(10%) ¥14,462)

非課税計 ¥0

合計

¥159,084

お預り金額 ¥159,084

印紙税申告納

付につき麴町

税務署承認済

〒100-8792 日本郵便株式会社

東京都千代田区大手町2-3-1

登録番号 T1010001112577

取扱日時：2025年 4月17日 17:03

発行No. 250417A3583 端N92箱10

連絡先：熊谷郵便局

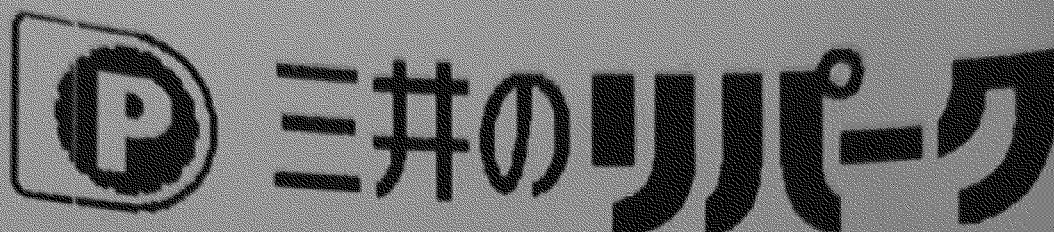
TEL:0570-086-819

政務活動費 領収書等貼付用紙

0454

(1/2)

日付	令和 7 年 4 月 17 日	支出額	300 円
項目	広報費	充当額	300 円
細目	広報費	按分率	
摘要	駅前広報活動のための駐車場代		
備考	リパーク新三郷駅西口第 2 ⑤美田宗亮		



リパーク新三郷駅西口第2

領 収 書

精算機 #01 A 精算No.000565

入庫時刻 2025年 4月17日(木) 06:25

出庫時刻 2025年 4月17日(木) 08:46

駐車料金 A料金 300円

=====

合 計 300円

(内税10%対象額 300円)

現金領収金額 300円

現金入金額 1,000円

釣銭 700円

三井不動産リアルティ株式会社

登録番号 T8010001140514

政務活動費 領収書等貼付用紙

0455

(1/2)

日付	令和 7 年 4 月 17 日	支出額	18,760 円
項目	広報費	充当額	18,760 円
細目	広報費	按分率	
摘要	須賀昭夫県政報告第 8 号 ポスティング用 4000 枚プリント代金		
備考			

政務活動費 領収書等貼付用紙

0455

(2/2)

領収書

2025年04月17日

須賀昭夫 様

平素は格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。
下記の金額正に領収いたしました。
何卒よろしくお願い申し上げます。

お支払条件 クレジットカード

納品場所 ご指定場所

御請求金額 18,760円（税込）

納品期日 7営業日

株式会社プリントバック

〒617-0003
京都府向日市森本町野田3-1-1
TEL 0120-977-920
FAX 075-935-8890



ご注文番号	内 容	数量	単 価	金 額
PAC42923334	品名：須賀昭夫県政報告第8号 ポスティング用 A3 / 両面4色 / コート90 / 4,000部×1種類 / 加工1：トンボ仕上がり断裁（ご注文サイズでお納め） 加工2：	1	18,760	18,760
合 計				18,760

特記事項

※クレジットカード決済の場合には、金銭または有価証券の受領事実がありませんので、表題が「領収書」となっていますが、印紙税法基本通達第17号の1文書には該当しません。
※5万円を超えていても収入印紙は貼付されません。

政務活動費 領収書等貼付用紙

0456

(1/2)

日付	令和 7 年 4 月 17 日	支出額	452,380 円
項目	広報費	充当額	452,380 円
細目	広報費	按分率	
摘要	須賀昭夫県政報告第 8 号ポスティング用 120000 枚プリント代金		
備考			

政務活動費 領収書等貼付用紙

0456

(2/2)

領収書

2025年04月17日

須賀昭夫 様

平素は格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。
下記の金額正に領収いたしました。
何卒よろしくご願ひ申し上げます。

株式会社プリントバック
〒617-0003
京都府向日市森本町野田3-4
TEL 0120-977-920
FAX 075-935-6890



お支払条件 クレジットカード

納品場所 ご指定場所

御請求金額 452,380円（税込）

納品期日 7営業日

ご注文番号	内 容	数量	単 価	金 額
PAC42923193	品名：須賀昭夫県政報告第8号 ポスティング用 A3 / 両面4色 / コート90 / 120,000部×1種類 / 加工1：トンボ仕上がり断裁（ご注文サイズでお納め） 加工2：	1	452,380	452,380
合 計				452,380

特記事項

※クレジットカード決済の場合には、金銭または有価証券の受領事実がありませんので、表題が「領収書」となっていますが、
印紙税法基本通達第17号の1文書には該当しません。
※5万円を超えていても収入印紙は貼付されません。

政務活動費 領収書等貼付用紙

0483

(1/2)

日付	令和 7 年 4 月 18 日	支出額	162,648 円
項目	広報費	充当額	113,853 円
細目	広報費	按分率	7/10
摘要	県政報告書郵送料		
備考	領収書宛名 杉田茂実		

領収書

様

[別納引受]

区内特別特 (定)

@81 2,008通 ¥162,648

小 計 ¥162,648

郵便物引受合計通数 2,008通

課税計(10%) ¥162,648

(内消費税等(10%)) ¥14,786

非課税計 ¥0

△計 ¥162,648

口計

お預り金額 ¥162,648

印紙税申告納

付につき麴町

税務署承認済



〒100-8792 日本郵便株式会社

東京都千代田区大手町2-3-1

登録番号 T1010001112577

取扱日時：2025年 4月18日 14:50

発行No. 250418A3606 端N92箱10

連絡先：熊谷郵便局

TEL:0570-086-819

政務活動費 領収書等貼付用紙

0484

(1/2)

日付	令和 7 年 4 月 18 日	支出額	900 円
項目	広報費	充当額	900 円
細目	広報費	按分率	
摘要	駐車場代（駅前広報活動）		
備考	3082 三郷中央駅前第 2 ⑤美田宗亮		

パラカ（株） 税率10%

3082 三郷中央駅前第2

T8010401043696

《 領 収 書 》

[NO. 4]

25年04月18日06:23 -- 04月18日08:39

駐車料金

900円

合計

900円

お預り
お釣

900円
0円

NO.070150

政務活動費 領収書等貼付用紙

0485

(1/2)

日付	令和 7 年 4 月 18 日	支出額	880 円
項目	広報費	充当額	880 円
細目	広報費	按分率	
摘要	広報活動 駅立ち 県政報告配布 駐車場代 三郷駅		
備考	逢澤 圭一郎		

政務活動費 領収書等貼付用紙

0485

(2/2)

タイムズ24株式会社（適用税率10%） タイムズ24株式会社
T4010001137274 登録番号T4010001137274
タイムズ24株式会社（適用税率10%） タイムズ24株式会社
登録番号T4010001137274 登録番号T4010001137274
タイムズ24株式会社（適用税率10%） タイムズ24株式会社
137274 登録番号T4010001137274 登録番号T4010001137274
社（適用税率10%） タイムズ24株式会社（適用税率10%） タイムズ24株式会社（適用税率10%）
01137274 登録番号T4010001137274 登録番号T4010001137274
24株式会社（適用税率10%） タイムズ24株式会社
T4010001137274 登録番号T4010001137274 登録番号T4010001137274
タイムズ24株式会社（適用税率10%） タイムズ24株式会社
登録番号T4010001137274 登録番号T4010001137274
率10% 25-04-18 06:31 登録番号T4010001137274 登録番号T4010001137274
137274 精算04-18 08:06 登録番号T4010001137274 登録番号T4010001137274
社（適用税率10%） タイムズ24株式会社（適用税率10%） タイムズ24株式会社（適用税率10%）
01137274 登録番号T4010001137274 登録番号T4010001137274
24株式会社（適用税率10%） タイムズ24株式会社
T4010001137274 登録番号T4010001137274 登録番号T4010001137274
タイムズ24株式会社（適用税率10%） タイムズ24株式会社
登録番号T4010001137274 登録番号T4010001137274
現金 880円
釣銭 120円
NO. 172556
タイムズ24株式会社（適用税率10%） タイムズ24株式会社
137274 登録番号T4010001137274 登録番号T4010001137274

Times **領収書**

タイムズ24株式会社

三郷駅前駐車場

0120-70-8924

駐車位置番号 12
25-04-18 06:31
精算04-18 08:06
駐車時間 1時間35分
駐車料金 880円
割引 0円
前払 0円
現金 880円
釣銭 120円
NO. 172556

政務活動費 領収書等貼付用紙

0486

(1/2)

日付	令和 7 年 4 月 18 日	支出額	5,500 円
項目	広報費	充当額	5,500 円
細目	広報費	按分率	
摘要	県政報告 春号 郵送代 追加分		
備考	宛名 松井弘		

領収書		様
[販売]		
R 7・シンプル 110・切手		
5,500円	1枚	¥5,500
小 計		¥5,500
課税計(10%)		¥0
(内消費税等(10%))		¥0
非課税計		¥5,500
△計		¥5,500
□計		
お預り金額		¥6,000
おつり		¥500
		
〒100-8792 日本郵便株式会社		
東京都千代田区大手町 2-3-1		
登録番号 T1010001112577		
取扱日時：2025年 4月18日 15:07		
発行No. 250418J6590 端N81箱01		
連絡先：朝霞郵便局		
TEL:0570-943-071		

政務活動費 領収書等貼付用紙

0487

(1/2)

日付	令和 7 年 4 月 18 日	支出額	149,615 円
項目	広報費	充当額	149,615 円
細目	広報費	按分率	
摘要	県政報告 春号 郵送代		
備考	宛名 松井 弘		

政務活動費 領収書等貼付用紙

0487

(2/2)

領収書

様

[別納引受]
第一種定形
@110

112通

¥12,320

小計

¥12,320

区内特別特特(定)BC
@81

1,695通

¥137,295

小計

¥137,295

郵便物引受合計通数

1,807通

課税計(10%)

¥149,615

(内消費税等(10%))

¥13,601

非課税計

¥0

合計

¥149,615

お預り金額

¥150,000

おつり

¥385

印紙税申告納
付につき麴町
税務署承認済

〒100-8792 日本郵便株式会社
東京都千代田区大手町2-3-1
登録番号 T1010001112577
取扱日時：2025年 4月18日 15:05
発行No. 250418A6612 端N81箱01
連絡先：朝霞郵便局
TEL:0570-943-071

政務活動費 領収書等貼付用紙

0488

(1/2)

日付	令和 7 年 4 月 18 日	支出額	99,000 円
項目	広報費	充当額	99,000 円
細目	広報費	按分率	
摘要	県政報告製作費（2025 春号）		
備考			

政務活動費 領収書等貼付用紙

0488

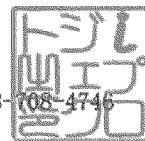
(2/2)

領 収 書		令和 3年 4月18日
埼玉県議会 自由民主党議員団	御中	
¥99,000—		
(内消費税等 ¥9,000—)		
但し 県政報告製作費(データ納品)		
上記正に領収致しました。		
	有限会社iプロジェクト 〒344-0067 埼玉県春日部市中央5-7-45 TEL:090-4717-1105	

埼玉県議会 自由民主党議員団 御中

令和 7年 4月 4日

〒344-0067
埼玉県春日部市中央5-7-45
有限会社iプロジェクト
TEL 090-4717-1105 FAX 048-708-4746
T1030002020414



お振込先:
 (有)iプロジェクト
 埼玉りそな銀行 春日部西口(普) 4667651

(有)プロジェクト 代表取締役 榎原伸生
川口信用金庫 柳崎支店(普)0570836

群

※ 尚、本請求書と行き違いの際は、ご了承下さい。

二階束箱	内消費税別
¥99,000—	¥9,000—

[illegible]

県政報告 2025年 春号

埼玉県議会議員

内沼博史

Hiroshi Uchinuma

飯能と埼玉をつなぐ

発行 埼玉県議会自由民主党議員団
内沼博史 事務所
飯能市双柳373-12 あおぞらビル202
TEL.042-978-8518 FAX.042-978-8519

所属委員会 決算特別委員会(委員長)
人材育成・文化・スポーツ振興特別委員会(副委員長)
環境農林委員会



人材育成・文化・スポーツ振興特別副委員長として、本会議において委員会報告を行う

県議会2月定例会報告

前年度比5.2%増の超大型予算で持続可能な発展を!!

令和7年度当初予算
過去最大規模

一般会計

2兆2,308億9,000万円

県議会2月定例会は2月19日に開会し、前年度比5.2%増となる令和7年度一般会計当初予算(2兆2,308億9,000万円)をはじめ、令和6年度2月補正予算等を議決し、3月27日に閉会しました。

本県は今、「人口減少・超少子高齢社会の到来」と「激甚化・頻発化する自然災害などへの危機対応」という2つの大きな課題に直面しています。令和7年度予算は、『未来を切り拓く、歴史的課題への挑戦』『日本一暮らしやすい埼玉』の着実な実現』『DX・TXを前提とした不断の行財政改革の推進』を基本方針に、歴史的2つの課題に敢然と立ち向かい、持続可能な発展につなげていく内容となっています。

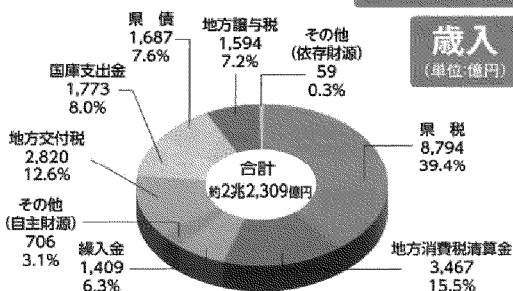
主な新規・拡充事業としては、自然災害への備え(通信機能の強化や治水対策の推進等、約394億5,146万円)、警察活動の強化(警察官を175人増員等、約4億900万円)、介護・医療体制の充実(人材確保等、約6億7,994万円)、保育士の確保・定着(約1億6,510万円)などが盛り込まれました。

八潮道路陥没事故で緊急要望、総額90億円の補正予算を議決

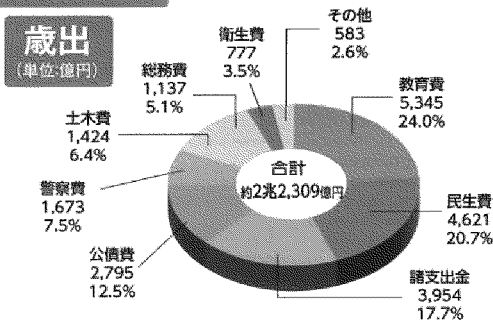
1月28日に八潮市内で発生した道路陥没事故を受け、自民党議員団は1月29日に大山忍八潮市長とともに、「人命救助を最優先で対応を進めること」「事故現場周辺の速やかな安全確保、復旧作業及び二次被害の発生防止に努めること」などを求めた緊急要望書を大野元裕知事に提出しました。

これを受け、2月定例会では事故の復旧工事のため、令和6年度流域下水道事業会計補正予算【第1号】及び【第3号】合わせて90億円(内、国庫補助金が45億円)が提案され議決しました。工期は令和7年度中の完成を目指すとしています。

令和7年度一般会計当初予算



※県税収入は、個人県民税や法人二税など8,794億円を計上
※県債は、臨時財政対策債や緊急防災・減災事業債など1,687億円を計上
※国庫支出金は、義務教育費負担金や社会資本整備総合交付金など1,773億円を計上
※自主財源(県税、地方消費税清算金、他)は14,376億円(64.4%)
※依存財源(国庫支出金、地方譲与税、県債、地方交付税、他)は7,933億円(35.6%)



※教育費は、教職員給与費や公立小中学校における1人1台端末整備にかかる
※民生費は、市町村が行う介護給付や保育所等の運営費への負担金など4,621億円を計上
※請支出金は、県税収入に伴う市町村への交付金や、他会計への支出金など3,954億円を計上

令和7年度の主な施策(抜粋)

～歴史的課題への挑戦～

1. 持続可能なまちづくりと経済成長の実現

■「渋沢MIX」におけるイノベーションの創出……………3億9,537万2千円

■埼玉県「令和7年度さいたま新都心に開設(予定)」

施設:コワーキングスペース、イベントスペース、ラウンジ、個別ブース(打合せスペース)、情報掲示スペース など

●共創プログラムの実施(企業同士のマッチングによる協業の伴走支援、支援金の支給)、●アクセラレーションプログラム(アーリー期)の実施(事業成長に向けた伴走支援、支援金の支給、デモデイ(成果報告会)の開催)、他



■サーキュラーエコノミー(CE)の推進……………7億237万8千円

●リチウムイオン電池の広域回収・資源化モデルの構築、●県民向けサーキュラーエコノミーの啓発、●サーキュラーエコノミー製品等の価値発信支援、●広域連携による衣料品のサーキュラーエコノミーの推進、●大企業ニーズ調査によるサーキュラーエコノミー推進センターのマッチング強化、他



■埼玉版スーパー・シティプロジェクトの推進……………15億8,470万円

■プロジェクトに取り組む市町村 合計56団体

●市町村への専門家派遣等による地域まちづくり計画の策定支援、●エネルギーレジリエンス強化促進支援事業、●県有施設への太陽光発電設備等の導入促進、他



■人手不足への対応……………7億6,916万2千円

●専門派遣の実施、●省力化投資に対する補助(導入:上限額200万円、補助率1/2、更新:上限額750万円、補助率1/2)、●女性活躍のための環境整備、●兼合住宅宅配ボクス設置補助、他



2. 「こどももんなが社会」の実現

■こどもの声を聞く「埼玉県こども会議」……………445万5千円

●小学生～高校生が県政に対し意見を表明する「埼玉県こども会議」を設置・運営、●こどもたちからの意見を施策づくりに生かすとともに、反映状況等を県ホームページで公表

■朝のこどもの居場所づくり……………557万4千円

●「朝のこ1の壁」を解消するため、「朝のこどもの居場所づくり」に取り組む市町村への支援



■保育士の確保・定着……………1億6,509万6千円

●新卒保育士に対する就職準備金(新卒保育士就職準備金)に30万円(県内保育所等で3年勤務することにより返還免除)の新たな貸付枠を創設するとともに、県外からの転居を伴う就職者に対しては10万円の加算枠を創設、●保育士の復帰・復職のサポート(未就学児を持つ保育士が育児等から復帰



する又は新たに就職する場合に、当該保育士が支払う保育料の半額(上限27,000円)の貸付期間を無償化の対象となる3歳児まで延長)、他

■メタバース空間を活用した不登校児童生徒支援……………4,272万6千円

●新たな居場所・学びの場を設置(一人ひとりの状況に合わせた学びの提供(講義形式・個別学習支援)、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーによる専門的な相談、利用者同士の日常の交流やオンライン社会科見学等の体験活動)

■特別支援学校の整備……………14億4,969万9千円

●県東部地域特別支援学校(仮称)の設置(令和12年度開校予定)、●県西南部地域特別支援学校(仮称)の設置(令和11年度開校予定)、●既存特別支援学校の校舎等改築(県立和光南特別支援学校の全面改築)(令和12年度校舎供用開始予定)

■県営公園の安全安心向上……………1億9,850万円

●防犯カメラの充実(5公園全30か所で詳細設計、6公園全40か所で設置工事を実施)



3. 更なるDXの推進による県民サービスと生産性の向上

■DXによる県民サービスの更なる向上……………1,500万円

●AIしごと診断・マッチング

システムによる若者の就業支援



■県内中小企業のDX推進……………8,522万9千円

●ノーコードツール活用によるDX促進(事業者におけるノーコードツール活用を促進するための実践型ワークショップを実施)

■DX・TXによる行政の更なる生産性向上……………1億2,727万6千円

●TX2.0タスクトランスフォーメーションの強化(TX1.0で導入した全庁共通ツールだけではカバーできない特定のタスクを効率化する新たなツールをモデル的に導入)、●県立高校でのデジタル採点の導入、他

4. 激甚化・頻発化する自然災害と新たな危機への強固な備え

■埼玉版FEMAによる災害対応力の強化……………7,964万3千円

●通信途絶状況下での対応(令和6年度半島地震での教訓を踏まえた図上訓練の実施)、●支援物資の物流オペレーション、●LINEを活用した多言語防災情報の提供、●災害時のリハビリテーション機能の強化、●新興感染症の訓練想定を拡充、他

■孤立集落となる可能性がある地域への対応……………3億6,400万円

●迂回路の無い県道の法面対策強化(アクセスルート強靱化推進費)

■自然災害への備え……………394万5,146万4千円

●衛星通信機器の導入(27基導入)、●流域治水対策の推進(中川・横瀬川緊急流域治水プロジェクト、既存施設の有効活用手法の検討等)、●緊急性の高い防災・減災対策の強化、●総合指揮支援システムの機能強化、●通信・映像資機材の整備、他

～「日本一暮らしやすい埼玉」の着実な実現～

1. 県民の暮らしの安心確保

■警察活動の強化……………4億899万6千円

●警察官の増員(全国最多 175人増員)、●ダークウェブ上における情報収集力の強化、他



■消費者被害対策の推進……………3,174万5千円

●消費生活センターへのAI電話の導入など消費者相談のDX化、●市町村相談体制支援費の設置、県内消費生活相談体制の維持、他

■民生委員の担い手確保対策支援……………3,741万円

●民生委員をサポートする協力員制度の導入、●オンライン会議・研修など、タブレットを活用した民生委員活動の効率化、他

2. 介護・医療体制の充実

■人材の確保……………7億8,730万1千円

◆医師の働き方改革の推進と偏在是正

●長時間労働医療機関へ医師派遣を行う医療機関に対して補助を実施、●地域の医療機関へ指導医等を配置し、地域医療に関する調査研究や人材育成支援をする大学に対して補助(寄附講座運営支援事業を拡充)、他

◆介護人材の確保・定着の促進

●採用未経験事業者に対するセミナーや個別相談会の実施、登録支援機関等の紹介、●事業所が登録支援機関等に支払う初期費用の補助、●埼玉県独自の新規ルート開拓、他

■救急医療体制の強化……………1億7,567万8千円

●75歳以上の重症救急患者を積極的に受け入れるためのインセンティブとして、医療機関への補助制度を創設、●夜間(22時から翌8時)における小児の初期救急患者の受入れを行う拠点医療機関(2か所)への補助

3. 支え合い魅力あふれる地域社会の構築

■観光プロモーション・インバウンド誘致の推進……………2億781万9千円

●酒やアウトドアスポーツなど、本県の強みとなるコンテンツの発信による観光周遊促進、●特定層にターゲットを絞ったプロモーション、他

■未来の県庁・新しい働き方の実現……………1億2,134万1千円

○「未来の県庁の先行モデル」となる北部地域道交交流拠点の基本計画の策定、●DX等の社会変革を踏まえた未来の県庁舎の再整備に向けた基本構想・基本計画の策定(令和7～8年度)、他

4. 豊かな自然と共生する社会の実現

■第75回全国植樹祭の開催……………10億1,615万3千円

●当日の式典運営・式典会場の現状復旧等、森林資源の活用、木材の利用拡大を図る「活樹」の発信、他



5. 儲かる農林業の推進

■地域農業の担い手確保……………3,572万1千円

●新たな担い手確保に向け、大規模農業法人などを誘致、規模拡大や県内への移入を支援、他

■水稲のカメムシ類・高温被害への対策……………3,086万4千円

●イネカメムシ対策として広域防除を推進(地域で広域防除に取組む団体等の支援、県内の防除受託体制を充足等)、●高温耐性新品種 えみほころの速やかな導入(栽培マニュアルの策定・現地実証、種子生産体制の整備等)、他

政務活動費 領収書等貼付用紙

0489

(1/2)

日付	令和 7 年 4 月 18 日	支出額	226,050 円
項目	広報費	充当額	226,050 円
細目	広報費	按分率	
摘要	県政報告（2025 春号）印刷代・折込代		
備考			

〈はんしん〉キャッシュサービス

お取扱明細票

毎度ご利用いただきありがとうございます。
お取扱明細票をどうぞお確かめ下さい。裏面もご覧下さい。

ご利用年月日				取扱金庫・店番—機番通番			
07-04-18				1253021-11007			
カード発行金融機関—店番—口座番号							
1253-				*****			
万円券(枚)	五千円券(枚)	二千円券(枚)	千円券(枚)	お取引金額			
0000000000	0000	0000	0000	¥226,050*			
お取引内容				お取引後残高			
支払い				*****			
手数料	¥0			ページ	硬貨		
時刻	13:20			おつり			

飯能信用金庫
飯能南支店
お受取人 フ“ソカツソフ”ソ(カ様
普通 0002075463
ご依頼人 ウチヌマ ヒロツ様
TEL042972-6432

印紙税申告納
付につき所沢

税務署承認済

ご利用ありがとうございました。

御中

2025年 4月10日

文化新聞 株式会社

T3030001156471 文化新聞株式会社

代表取締役 岩沢 隆史

〒357-0124 埼玉県飯能市原市場8番地

TEL:0429785144

FAX: 0429785143

文藝春秋
株式會社

毎度ありがとうございます。下記のとおりご請求申し上げます。

※この書類はインボイスに該当しますので、適切に保管してください。

△

お振込の節は、下記口座をお願いいたします。

1. 飯能信用金庫 飯能南支店

普通預金 2075463

ブソカブブソカ

恐れ入りますが、振込手数料は貴社にてご負担をお願いいたします。

県政報告 2025年 春号

埼玉県議会議員

内沼博史

Hiroshi Uchinuma

飯能と埼玉をつなぐ

発行 埼玉県議会自由民主党議員団
内沼博史 事務所
飯能市双柳373-12 あおぞらビル202
TEL.042-978-8518 FAX.042-978-8519

所属委員会 決算特別委員会(委員長)
人材育成・文化・スポーツ振興特別委員会(副委員長)
環境農林委員会



人材育成・文化・スポーツ振興特別副委員長として、本会議において委員会報告を行う

県議会2月定例会報告

前年度比5.2%増の超大型予算で持続可能な発展を!!

令和7年度当初予算
過去最大規模

一般会計

2兆2,308億9,000万円

県議会2月定例会は2月19日に開会し、前年度比5.2%増となる令和7年度一般会計当初予算(2兆2,308億9,000万円)をはじめ、令和6年度2月補正予算等を議決し、3月27日に閉会しました。

本県は今、「人口減少・超少子高齢社会の到来」と「激甚化・頻発化する自然災害などへの危機対応」という2つの大きな課題に直面しています。令和7年度予算は、『未来を切り拓く、歴史的課題への挑戦』『日本一暮らしやすい埼玉』の着実な実現』『DX・TXを前提とした不断の行財政改革の推進』を基本方針に、歴史的2つの課題に敢然と立ち向かい、持続可能な発展につなげていく内容となっています。

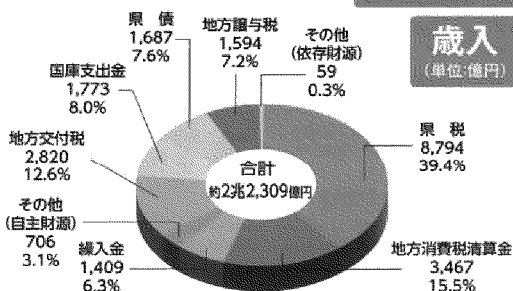
主な新規・拡充事業としては、自然災害への備え(通信機能の強化や治水対策の推進等、約394億5,146万円)、警察活動の強化(警察官を175人増員等、約4億900万円)、介護・医療体制の充実(人材確保等、約6億7,994万円)、保育士の確保・定着(約1億6,510万円)などが盛り込まれました。

八潮道路陥没事故で緊急要望、総額90億円の補正予算を議決

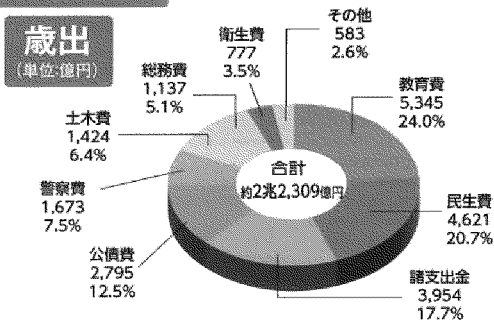
1月28日に八潮市内で発生した道路陥没事故を受け、自民党議員団は1月29日に大山忍八潮市長とともに、「人命救助を最優先で対応を進めること」「事故現場周辺の速やかな安全確保、復旧作業及び二次被害の発生防止に努めること」などを求めた緊急要望書を大野元裕知事に提出しました。

これを受け、2月定例会では事故の復旧工事のため、令和6年度流域下水道事業会計補正予算【第1号】及び【第3号】合わせて90億円(内、国庫補助金が45億円)が提案され議決しました。工期は令和7年度中の完成を目指すとしています。

令和7年度一般会計当初予算



※県税収入は、個人県民税や法人二税など8,794億円を計上
 ※県債は、臨時財政対策債や緊急防災・減災事業債など1,687億円を計上
 ※国庫支出金は、義務教育費負担金や社会資本整備総合交付金など1,773億円を計上
 ※自主財源(県税、地方消費税清算金、他)は14,376億円(64.4%)
 ※依存財源(国庫支出金、地方譲与税、県債、地方交付税、他)は7,933億円(35.6%)



※教育費は、教職員給与費や公立小中学校における1人1台端末整備にかかる
 市町村への補助金など5,345億円を計上
 ※民生費は、市町村が行う介護給付や保育所等の運営費への負担金など4,621億円を計上
 ※請支出金は、県税収入に伴う市町村への交付金や、他会計への支出金など3,954億円を計上

令和7年度の主な施策(抜粋)

～歴史的課題への挑戦～

1. 持続可能なまちづくりと経済成長の実現

■「渋沢MIX」におけるイノベーションの創出……………3億9,537万2千円

■埼玉県「令和7年度さいたま新都心に開設(予定)」

施設:コワーキングスペース、イベントスペース、ラウンジ、個別ブース(打合せスペース)、情報掲示スペース など

●共創プログラムの実施(企業同士のマッチングによる協業の伴走支援、支援金の支給)、●アクセラレーションプログラム(アーリー期)の実施(事業成長に向けた伴走支援、支援金の支給、デモデイ(成果報告会)の開催)、他



■サーキュラーエコノミー(CE)の推進……………7億237万8千円

●リチウムイオン電池の広域回収・資源化モデルの構築、●県民向けサーキュラーエコノミーの啓発、●サーキュラーエコノミー製品等の価値発信支援、●広域連携による衣料品のサーキュラーエコノミーの推進、●大企業ニーズ調査によるサーキュラーエコノミー推進センターのマッチング強化、他



■埼玉版スーパー・シティプロジェクトの推進……………15億8,470万円

■プロジェクトに取り組む市町村 合計56団体

●市町村への専門家派遣等による地域まちづくり計画の策定支援、●エネルギーレジリエンス強化促進支援事業、●県有施設への太陽光発電設備等の導入促進、他



■人手不足への対応……………7億6,916万2千円

●専門派遣の実施、●省力化投資に対する補助(導入:上限額200万円、補助率1/2、更新:上限額750万円、補助率1/2)、●女性活躍のための環境整備、●兼合住宅宅配ボクス設置補助、他



2. 「こどももんなが社会」の実現

■こどもの声を聞く「埼玉県こども会議」……………445万5千円

●小学生～高校生が県政に対し意見を表明する「埼玉県こども会議」を設置・運営、●こどもたちからの意見を施策づくりに生かすとともに、反映状況等を県ホームページで公表

■朝のこどもの居場所づくり……………557万4千円

●「朝のこ1の壁」を解消するため、「朝のこどもの居場所づくり」に取り組む市町村への支援



■保育士の確保・定着……………1億6,509万6千円

●新卒保育士に対する就職準備金(新卒保育士就職準備金)に30万円(県内保育所等で3年勤務することにより返還免除)の新たな貸付枠を創設するとともに、県外からの転居を伴う就職者に対しては10万円の加算枠を創設、●保育士の復帰・復職のサポート(未就学児を持つ保育士が育児等から復帰



する又は新たに就職する場合に、当該保育士が支払う保育料の半額(上限27,000円)の貸付期間を無償化の対象となる3歳児まで延長)、他

■メタバース空間を活用した不登校児童生徒支援……………4,272万6千円

●新たな居場所・学びの場を設置(一人ひとりの状況に合わせた学びの提供(講義形式・個別学習支援)、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーによる専門的な相談、利用者同士の日常の交流やオンライン社会科見学等の体験活動)

■特別支援学校の整備……………14億4,969万9千円

●県東部地域特別支援学校(仮称)の設置(令和12年度開校予定)、●県西南部地域特別支援学校(仮称)の設置(令和11年度開校予定)、●既存特別支援学校の校舎等改築(県立和光南特別支援学校の全面改築)(令和12年度校舎供用開始予定)

■県営公園の安全安心向上……………1億9,850万円

●防犯カメラの充実(5公園全30か所で詳細設計、6公園全40か所で設置工事を実施)



3. 更なるDXの推進による県民サービスと生産性の向上

■DXによる県民サービスの更なる向上……………1,500万円

●AIしごと診断・マッチングシステムによる若者の就業支援



■県内中小企業のDX推進……………8,522万9千円

●ノーコードツール活用によるDX促進(事業者におけるノーコードツール活用を促進するための実践型ワークショップを実施)

■DX・TXによる行政の更なる生産性向上……………1億2,727万6千円

●TX2.0タスクトランスフォーメーションの強化(TX1.0で導入した全庁共通ツールだけではカバーできない特定のタスクを効率化する新たなツールをモデル的に導入)、●県立高校でのデジタル採点の導入、他

4. 激甚化・頻発化する自然災害と新たな危機への強固な備え

■埼玉版FEMAによる災害対応力の強化……………7,964万3千円

●通信途絶状況下での対応(令和6年度半島地震での教訓を踏まえた図上訓練の実施)、●支援物資の物流オペレーション、●LINEを活用した多言語防災情報の提供、●災害時のリハビリテーション機能の強化、●新興感染症の訓練想定を拡充、他

■孤立集落となる可能性がある地域への対応……………3億6,400万円

●迂回路の無い県道の法面対策強化(アクセスルート強靱化推進費)

■自然災害への備え……………394万5,146万4千円

●衛星通信機器の導入(27基導入)、●流域治水対策の推進(中川・横瀬川緊急流域治水プロジェクト、既存施設の有効活用手法の検討等)、●緊急性の高い防災・減災対策の強化、●総合指揮支援システムの機能強化、●通信・映像資機材の整備、他

～「日本一暮らしやすい埼玉」の着実な実現～

1. 県民の暮らしの安心確保

■警察活動の強化……………4億899万6千円

●警察官の増員(全国最多 175人増員)、●ダークウェブ上における情報収集力の強化、他



■消費者被害対策の推進……………3,174万5千円

●消費生活センターへのAI電話の導入など消費者相談のDX化、●市町村相談体制支援費の設置、県内消費生活相談体制の維持、他

■民生委員の担い手確保対策支援……………3,741万円

●民生委員をサポートする協力員制度の導入、●オンライン会議・研修など、タブレットを活用した民生委員活動の効率化、他

2. 介護・医療体制の充実

■人材の確保……………7億8,730万1千円

◆医師の働き方改革の推進と偏在是正

●長時間労働医療機関へ医師派遣を行う医療機関に対して補助を実施、●地域の医療機関へ指導医等を配置し、地域医療に関する調査研究や人材育成支援をする大学に対して補助(寄附講座運営支援事業を拡充)、他

◆介護人材の確保・定着の促進

●採用未経験事業者に対するセミナーや個別相談会の実施、登録支援機関等の紹介、●事業所が登録支援機関等に支払う初期費用の補助、●埼玉県独自の新規ルート開拓、他

■救急医療体制の強化……………1億7,567万8千円

●75歳以上の重症救急患者を積極的に受け入れるためのインセンティブとして、医療機関への補助制度を創設、●夜間(22時から翌8時)における小児の初期救急患者の受入れを行う拠点医療機関(2か所)への補助

3. 支え合い魅力あふれる地域社会の構築

■観光プロモーション・インバウンド誘致の推進……………2億781万9千円

●酒やアウトドアスポーツなど、本県の強みとなるコンテンツの発信による観光周遊促進、●特定層にターゲットを絞ったプロモーション、他

■未来の県庁・新しい働き方の実現……………1億2,134万1千円

○「未来の県庁の先行モデル」となる北部地域道交交流拠点の基本計画の策定、●DX等の社会変革を踏まえた未来の県庁舎の再整備に向けた基本構想・基本計画の策定(令和7～8年度)、他

4. 豊かな自然と共生する社会の実現

■第75回全国植樹祭の開催……………10億1,615万3千円

●当日の式典運営・式典会場の現状復旧等、森林資源の活用、木材の利用拡大を図る「活樹」の発信、他



5. 儲かる農林業の推進

■地域農業の担い手確保……………3,572万1千円

●新たな担い手確保に向け、大規模農業法人などを誘致、規模拡大や県内への移入を支援、他

■水稲のカメムシ類・高温被害への対策……………3,086万4千円

●イネカメムシ対策として広域防除を推進(地域で広域防除に取組む団体等の支援、県内の防除受託体制を充足等)、●高温耐性新品種 えみほころの速やかな導入(栽培マニュアルの策定・現地実証、種子生産体制の整備等)、他